プレス通知資料

山形大学
YAMAGATA UNIVERSITY

平成２７年４月２４日
山　形　大　学

ペルー共和国文化省と山形大学の特別協定書の締結について

山形大学は4月23日（木）、ペルー共和国リマ市内において同国文化省とナスカの地上絵に関する学術協力と保護等を目的とする「特別協定書」を締結しました。

「ペルー共和国文化省と山形大学の機関間の協力に関する特別協定書」締結の概要は以下の通りです。

【背景】

世界遺産ナスカ地上絵研究は、2004年、山形大学人文学部の坂井正人教授を中心とする学際的なプロジェクト研究として出発し、新しい地上絵の相次ぐ発見と地道な現地での研究の積み重ねによって、本学が誇る世界的な研究に成長しました。この研究はペルー共和国文化省によって高く評価され、この度、山形大学とペルー共和国文化省の間で、学術協力と地上絵の保護に関する特別協定書を締結しました。

【調印式概要】

日　時：平成27年4月23日(木)　16:00～17:00　（現地時間）
場　所：ペルー共和国　国立大劇場貴賓室（Sala VIP del Gran Teatro Nacional）
出席者：ペルー共和国文化省
　　大臣　ディアナ・アルバレス・カレデロン・ガヨ
　　副大臣　ルイス・ハイメ・カスティーヨ
　　事務局長　マリオ・クリストフェル・ワパヤ・ナバ
　国立大学法人山形大学
　　学長　小山　清人
　　ナスカ研究所長（人文学部長）　北川　忠明
　　ナスカ研究所副所長（人文学部教授）坂井　正人

【協定の概要】

ナスカの地上絵に関する学術協力、保護活動などを目的として、山形大学人文学部ナスカ研究所が作成したナスカの地上絵に関するデジタル情報をペルー文化省と共有するとともに、地上絵の保護・監視活動を支援する。

【関係者のコメント】

アルバレス・カレデロン大臣

「ナスカの地上絵に関する山形大学との協定によって、地上絵の保護活動の進展を期待する。」

小山学長

「地上絵が現在おかれた危機的な状況において、地上絵の保護活動に山形大学が寄与できることを喜ばしく思う

【今後の活動・研究予定】

山形大学がこれまで集めた地上絵に関する情報を、保護に役立ててもらうために、ペルー文化省に提供する。また、2014年度の調査で発見したラクダ科動物の地上絵群が分布している地区を破壊から守り、保護地区に指定するために協力する。

【お問合せ先】
［研究に関すること］
人文学部教授　坂井正人
電話：023-628-4785
Mail:sakai@human.kj.yamagata-u.ac.jp
［調印に関すること］
総務部総務課広報室　樋口
電話：023-628-4008
携帯：090-7332-7472
Mail: koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

あいさつする小山学長

協定書にサインするｱﾙﾊﾞﾚｽ･ｶﾚﾃﾞﾛﾝ大臣と小山学長

協定書を披露するｱﾙﾊﾞﾚｽ･ｶﾚﾃﾞﾛﾝ大臣と小山学長

談笑するｱﾙﾊﾞﾚｽ･ｶﾚﾃﾞﾛﾝ大臣と小山学長